

令和2年度 第2回豊田市商業振興委員会会議録

【日 時】 令和2年8月18日（火） 午後2時～午後5時

【場 所】 豊田市役所南庁舎52会議室

【出席者】 <委員>

脇田 弘久〔愛知学院大学商学部 教授〕
井口 貴視〔豊田信用金庫 中小企業診断士〕
松永 郁也〔豊田商工会議所 常議員〕
河原 郁子〔とよた下町おかみさん会 平成30年度会長〕
杉田 雅子〔株式会社 杉田組 ブルーベリー事業部取締役〕
杉山 裕貴〔市民公募〕
新田 都子〔高岡地域消費者グループ 代表〕
元岡 征志〔シー・プロジェクト 代表中小企業診断士／社会福祉士〕
(計8名)

<事務局>

西脇 委千弘〔豊田市産業部部長〕
柴田 徹哉〔豊田市産業部商工振興室〕
藤田 憲彦〔豊田市産業部商業観光課副課長〕
吉野 佑美〔豊田市産業部商業観光課担当長〕
田中 湖〔豊田市産業部商業観光課主事〕

【傍聴者】 なし

【次第】

- 1 産業部長あいさつ
- 2 本日の審議スケジュール等について
- 3 委員長あいさつ
- 4 議事
 - (1) 商店街等活性化計画の中間報告について
 - (2) 商業活性化プラン（2021-2024）の素案について
- 5 その他
令和2年度 商業振興委員会開催予定について

【会議録（要約）】

4 議事

(1) 商店街等活性化計画の中間報告について

① 旭商工会

旭商工会から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

定住が条件であるということだが、定住ではないケースはあるのか。

旭商工会

定住者向けではない物件については巡回で把握し、定住者向け物件については空き家バンクを活用して情報収集している。

委員

空き家バンクと店舗活用双方の補助金を活用していて良いと思う。敷島自治区ふれあい夏祭りに様々な店が並ぶように、より多くの人が自分の店舗を持つことが出来ると素敵である。Iターン者のみならず、もともと暮らしている方も巻き込んでほしい。とてもよい企画であると思うので、頑張ってもらいたい。

旭商工会

約10年前からIターンが始まり、コミュニティが形成され、現在は地区外に向けて良い商品を買いたいという者も出ている。約3年前より伴走型補助金を活用した創業セミナーを開催しているが、Iターン者が増えたことで参加者数が増えている。セミナー後に定住目的でない店舗利用のみの物件を紹介しているケースもある。

委員

あまり芳しくない現状を踏まえ、現計画の見直しを考えているか。

旭商工会

空き家バンクについて、支所と話を詰める必要があると考えている。空き家バンクの書類とともに、空き店舗情報のホームページ掲載許可書類を添える仕組みづくりを進めているところである。

委員

そのような仕組みづくりが進む状況は良いことだと思う。引き続き取り組んで頂きたい。商工会会員である各店舗の方に対し、今後の商売についてどう考えているか聞くことも、空き店舗対策につながるのではないか。

委員

6店舗に関する報告の中で、空き家を祭り等のイベント時にのみ活用したいというケースがあった。しかし、イベント開催は本来の事業目的からかけ離れる。商業を行う方に理解してもらえようお願いしてほしい。

旭商工会

当地区には依然として不足業種があるため、空き店舗を貸して下さる方には、その点も含めて説明したい。

委員

岐阜県の温泉地までキャンプへ行く際に、車で旭地区を通るが、そのまま通過してしまう。何か立ち寄れる場所があるとよいのではないか。

旭商工会

今後は空き地にも注目して、有効活用もできればよいと考えている。

② 桜町本通り商店街振興組合

桜町本通り商店街振興組合から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

SNS を活用した発信について、実績を付け加えて頂きたい。

桜町本通り商店街振興組合

商店街としては、2年前から Facebook を活用している。店舗によってはインスタグラムを続けており、集客に繋がっていると聞いている。Google マイビジネスにも最近登録した。愛商連に相談したことがきっかけで、自分でホームページを運営するようになった。県内の他の商店街では、ホームページを作成したものの更新がなされず、5年前の情報が載ったままになっているホームページが多いと認識している。

委員

SNS への反応はどうか。

桜町本通り商店街振興組合

先月アップしたばかりで、まだ成果は出ていない。現在、組合員 20 店舗中 7 店舗しかホームページを持っていないため、今後は個店でも SNS アカウントかホームページを持ってもらい、集客につなげていきたい。

委員

商店街名のみで調べてみたが、まだ Google 検索では出てこないようである。豊田市のページに掲載できないのか。将来的に、商業観光課のホームページにリンクを貼ってもらえればよいと思う。

桜町本通り商店街振興組合

Google 検索については、現在は 2 ページ目に確認できる。「来て見て」と入力してもらえば、最上位に表示される。今後、「拳母神社」「八日市」等のキーワードとともに、桜町本通り商店街のページを見つけてもらえるようにしたい。

委員

八日市に行った人から「こんなものを買ったよ。」等の話を聞く。若者や地域の方々の協力を得ながら、露出度が増えるよう工夫すれば、少しずつ八日市や商店街が知られていくのではないかな。

桜町本通り商店街振興組合

3 月に名古屋のテレビ局に取材を受けたが、その直後にコロナが蔓延したため、現状、メディアによる広報は頓挫してしまっている。

委員

拳母神社・八日市・桜というコンテンツがあるため、ブランドを活用してほしい。名前に桜が入っているため、たとえば、ホームページも桜のイメージでデザインすれば、一体感もあってよいのではないかな。

桜町本通り商店街振興組合

桜の写真を使うように準備している。また、桜を 18 本植えた。今後は、街路樹として桜を植えたいと思っているが、市道には簡単に植えられないため実現していない。

委員

桜は、桜城址公園に植えているのか。

桜町本通り商店街振興組合

商店街の一角に植えている。

委員

集客が厳しい状況だが、ホームページ・SNS 活用を引き続き頑張ってもらいたい。

委員

立地がよく、空き店舗がすぐ埋まる商店街だと認識している。若者が集まる STREET & PARK MARKETもある。高齢者・若者の双方にアプローチして頂くことで、まち全体として明るくなっていくと思う。桜もシンボリックなもので、地域の皆様も楽しみにしていると思う。応援したい。

桜町本通り商店街振興組合

時節柄、イベントは自粛すべきか判断が難しい。このままイベント開催が出来なければ、組合費を組合員に3ヶ月分程返そうかと思っている。

委員

コロナ終息が読めず、イベントも実施しづらい状況であるが、何か企画していることはあるか。

桜町本通り商店街振興組合

4月に組合員へマスク3,000枚を配布した。八日市では密にならないイベントを開催したい。12月に豊田東高等学校の生徒によるタペストリーイベントを開催する予定である。

委員

11月に永覚新町にぎやか市の開催を予定しており、出展者の募集をしている。募集状況を見ながら開催の可否を決定しようとしている段階である。商店街が頑張っていることをアピールしなければ、地域から商店街が忘れられてしまう。後ろ向きになるのではなく、前向きに考えて頂きたい。

③ 豊田市駅前商業協同組合

豊田市駅前商業協同組合から説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

基本目標のところ、売上が前年よりも増加した組合員が 75%以上とあるが、ラグビーワールドカップによる効果なのか。とよしばや KiTARA の影響なのか。

豊田市駅前商業協同組合

ラグビーは期間限定であり、開催期間以外は大きな影響はなかったと感じている。とよしばや KiTARA によって大きく影響を受けたという印象はあまりない。

委員

コロナ対策が出来ていない組合員の店舗は、全体の何パーセントか。

豊田市駅前商業協同組合

組合としてヒアリングやアンケート調査等による把握は行っていない。具体的な支援が出来ないためである。ただし、KiTARA に限っては、テナントに入っている全 7 店舗の飲食店のうち約半数以上は本部のサポートがない状態である。東京・名古屋に本社があるフランチャイズ店では、ほぼ支援がなく、店長に決裁権もないため、必要物品等を支給している。

委員

平日の集客についての話があったが、確かに休日の豊田市は街中に人が大勢いる。一方で、平日の様子は週末や祝日前とは全く異なっている。

豊田市駅前商業協同組合

豊田市と刈谷市は、全国的に見ても独特であり、週末の集客で持ちこたえている。一般的には、平日が盛況で、土日に落ち込む地域が多いようである。

委員

抽選会開催に関して、自己資金割合が高いということ、今回初めて理解した。商店街の費用が使用されている旨を、一言チラシに書いて頂くことで、商店街が頑張っていることがわかるのではないか。そのような記載がないまま抽選会のみ開催されていると、漠然と市か何らかの団体が費用を出し、抽選会が行われているという程度の認識に留まってしまわないか。

委員

「全事業通しての自己評価、課題」の最後の部分で、コロナ対策も含んだ補助メニューの拡充を希望されているが、具体的に何が必要か。

豊田市駅前商業協同組合

最低限必要となるところから揃えたい。現在はマスクが流通しているので、アルコール度数 70%以上の消毒液が必要である。空気清浄機・飛沫ガードについては、追々の対応になると思う。市内では、飛沫ガードはまだあまり普及しておらず、組合から店舗側に支給すると伝えても断られたことがあった。

委員

大手チェーンではコロナ対策をしていないにも関わらず、営業を続けるように指示していることが不思議であるが、店長に権限がないのが実態であるのか。

豊田市駅前商業協同組合

組合加盟店すべてに確認してはいないが、KiTARA 中では、当初そのような状況であった。KiTARA としては、コロナ対策をしたうえで正々堂々営業する方針をとっている。一部、長期休業を実施した店舗もある。

委員

営業する店舗については、コロナ対策が必要であるため、商業観光課の支援対象にしてもよいのではないかと思う。

委員

今後もコロナが続く場合、イベントに頼らないまちづくりについて、どのように考えているのか。

豊田市駅前商業協同組合

私たちのみで対応可能なことではないと思っている。もともと、ランチや宴会を目的に飲食店に来ていた人は、駅周辺で働いている人である。社会が完全にテレワークへ移行すれば、商売の維持は難しい。コロナ第2波によって、飲食店にも休業・廃業が出てきており、厳しい状況になってきている。

委員

弊社においても、コロナによってイベントが半分程なくなった。対応として、企業に完全予約制でケーキを購入してもらったり、配達したりした。また、県庁の各庁舎に出向き、チラシを配ってケーキを販売した。県庁に弁当を 1,000 食程持ち込む事業者も見かけたが、その数であっても売り切れていた。飲食店を盛り上げるため、ブームとなるような新しい解決策を考える必要がある。飲食店同士が、知恵を出し合う必要があるのではないかと考えている。

豊田市駅前商業協同組合

名古屋の場合、路上でも商品は売り切れる。通行量が多く、需要と供給がマッチしているためである。豊田市では、テイクアウトを実施していても売れ残ってしまうのが現状である。

委員

飲食店の生存戦略について、個人的な意見ではあるが、家族・単身者を取り込むことが鍵になると考えている。

豊田市駅前商業協同組合

飲食店の収入源は企業の飲み会である。飲み会の予約が入らなくなったため個人消費に頼らざるを得ないが、個人は出費を抑えるため普段程の売上は見込めない。プレミアム率 100%の食事券を発行したところ即座に売り切れたが、この取り組みでは根本的な解決にならないため、今後の対応を考えあぐねている。

④ 豊田東豊商店街振興組合

豊田東豊商店街振興組合より説明を受け委員から意見を聴取した。

委員

「きれいきれい商店街」事業により、会員が 3 店舗増え、21 店舗になったという解釈でよいか。

豊田東豊商店街振興組合

賛助会員であるが、3 店舗増えた。

委員

会員が増加したということだが、該当事業のどのような点がよかったのか。

豊田東豊商店街振興組合

かつては神池公園で盛大に夏祭りを行っていたが、それが出来なくなって以降、商店街の存在感が薄れた。しかし、6年程前より美里ふるさと祭りに関わることで、商店街の認知度が上がった。商店街も積極的に地域に出ていかなくてはいけない。

委員

資料内の商店街の目指す将来像において、大型店・量販店と協力とあるが、どうということか。

豊田東豊商店街振興組合

家電量販店が出店した際に、加盟していただいた。かつては、生協の地域店に商店街の希望者が商品を陳列出来るコーナーを作って頂いたこともあった。今後大型店が出てきた際には連携・競合したい。

委員

補助金 0 円とあるが、当初からなのか。それとも、コロナの影響で中止になったためか。

豊田東豊商店街振興組合

もともと原資がない。大半が、街路灯の維持管理費になっている。チラシも自分たちで印刷している状態である。組合員が増えれば、補助対象の活動にも取り組めるが、現状では難しい。

委員

商店街区域内の商店数が 200 店舗と一番多い。他地域は 100 を切るくらいである。しかし、当商店街組合の加入店舗数は一番少ない。その中で今回 3 店舗再加入したが、組合員数を増やすために、どのような活動をしているのか。

豊田東豊商店街振興組合

新しいお店が出来ると、理事だけでなく、近隣の組合員も一緒に声掛けをする。組合員数減少の要因のひとつは店舗の老朽化である。美里地区は駐車場の利用需要があるため、地主が駐車場やマンションにしてしまうことも多い。また、新しくお店が入ったとしても、半年から 1 年で出ていってしまう状況が続いている。

委員

正会員と賛助会員の分け方はどうなっているのか。

豊田東豊商店街振興組合

賛助会員は、街路灯の維持費のみ負担していただく。扱いは一緒であるため、渡している資料は正会員と同一である。正会員からは、年会費 24,000 円を頂いている。

委員

組合に入るメリットは何か。

豊田東豊商店街振興組合

メリットは少ない。強いて挙げると、地域で名前を知ってもらい、顧客が増えるのがメリットであると思っている。また、余分な広告費を使わなくとも、商店街と一緒に美里ふるさと祭りに参加すれば、名前を出して認知度を上げることができる。

委員

加入していない店の前にも街路灯があるのか。

豊田東豊商店街振興組合

ある。商店街の店舗数が 64 件に減った時、市の補助で当時の加入店舗の前の街路灯を建て直した。その後テナントが変わるなどして新しく入った店舗からは、自分とは関係ないと言われてしまい、電灯料を商店街で負担し続けている状況。賛助会員になって協力してもらえないか説明に回っているところである。

委員

街路灯の電気代についても資料化して、協力を仰いではどうか。

(2) 商業活性化プラン（2021-2024）の素案について

委員

前回参加していないため、議事録を確認した。主に相談支援機能の強化をしようとしていることが窺えるが、昨年度の委員会でも紹介した副業・兼業人材の活用も検討してほしい。県外の人材（関係人口）を活用することは、小規模事業者の費用とリスク負担を抑えられる。相談機能だけ備えても、担い手や右腕となる人材が不足する可能性がある。兼業人材活用の機運もあるため、マッチング促進事業の中に入れてほしい。ダブルワーク時の労働時間管理が問題となるが、労働契約形態によっては問題のない兼業もあると思っているため、検討してほしい。

委員

先程の豊田市駅前商業協同組合の報告内で、コロナ対策がほとんど出来ていないとの話があった。経産省によって、コロナ対策への投資に最大 50 万円を補助する「事業再開枠」が創設されたが、あまり周知されていないように感じている。プラン概要版内にある「コロナ禍に対応した店舗づくり等を支援する」という項目は、そのような補助金とは別のものなのか。

事務局

プランは来年度から運用が開始する。中小企業団体等事業費補助金の中に、商店街等施設整備事業がある。そちらをコロナにも対応する形に出来るかどうか、事業の詳細について検討している。

委員

資料 6-3 のクラウドファンディングの案が出てきた経緯を説明してほしい。

事務局

現在、市内の新規創業者を支援出来る制度に限られる。一定のカリキュラムを組んだ事業者に対し、税制優遇措置が受けられるような証明書は発行している。ハード面では、創業出店促進事業があるが、利用のハードルが高い補助金となっており、なかなか活用されていない。他市の事例も踏まえ、ソフト面の策を検討した結果、創業時の課題の一つである資金調達を行政でサポートすることが、潜在的な創業者の発掘につながると考えた。

委員

金融機関でもクラウドファンディングを取り扱っているが活性化していない。調達というよりもテストマーケティングとしての色合いが強く、事業に至らないケースが多い。売上につながるかというとなかなか難しい部分も多い。資金調達支援の他の策はなかったのか気になった。

創業者のニーズとしては、資金調達よりも顧客獲得にある。行政がどこまでビジネスを支援すべきかについては難しいと思うが、吟味してほしい。

委員

「魅力ある個店づくり支援事業補助金」はどのようにPRしていくのか。商工会議所経由の場合、加入しなければならないのか。無所属の店舗も対象となるのか。

事務局

検討中ではあるが、アドバイザー派遣事業の利用を条件のひとつと考えている。

委員

コロナがひと段落し、上を向く流れに乗れるような事業者でありたいと思う。次の活力ある仕事を支えていく必要があると感じる。

委員

もっと商業者側が勉強しないといけない。どんなに支援メニューがあっても、支援の受け手が意欲的に取り組まなければ、何年経っても変わらないままである。

委員

支援や補助金を利用する側が、上手に使えていないのが現状である。商店街等の組織から伝えることも必要である。市や商工会議所等が情報発信を行っても、アンテナを持っている事業者でなければ通り過ぎるだけになってしまう。

委員

働き盛りの人が一生懸命商売しているような店は安心する。互いに元気でいられ、買い物に行くことが楽しくなる。後継者を安心して育てられるようなまちになるとよい。

委員

魅力ある個店づくりに関して、アドバイザー派遣の話があった。商工会議所等の推薦がいるとなると、非会員は利用出来ないのではないかな。

事務局

会員でなくても利用可能である。非会員へ情報が届きにくいことが課題ではある。

委員

足助や稲武でも利用した実績がある。中小企業大学校出身の先生などから、店舗づくり等について根本から教えてもらった。現在はミラサポでお世話になっている。

事務局

アドバイザー派遣が有効であるとした場合、商工会議所等の推薦に委ねている点が、利用上のネックになると感じるか。

委員

事業者を支援する立場であるため、商工会議所等を窓口としてアドバイザー派遣をお願いする感覚がない。市の制度であれば我々も直接関与しやすいほうがよい。

委員

商工会議所にアドバイザー派遣の依頼に行くと、入会勧誘をされるのではないかと感じる。商工会議所だけでなく、他の支援機関でもアドバイザー派遣が行えるように、間口を広げてよいのではないか。

委員

そのような制度があれば、非常に使いたい。